

閣僚の略歴 (内閣発足2011年1月18日)

首相 (閣僚会議議長) 【再任】

ドナルド・トゥスク (Mr. Donald Tusk)

下院議員 (市民プラットフォーム党首)

1957年 グダンスク生まれ グダンスク大学人文学部卒



ポーランドの少数言語グループであるカシューブ人の家庭に生まれる。大学卒業後、体制転換までは「連帯」運動等の反体制活動に力を入れる。1990年、ビエリツキ元首相等、同じグダンスク地方の若手政治家と共に政党「自由民主会議」を設立、一貫して政治的には中道・右派で、経済政策ではよりバラバラな方針を維持してきた。2001年にオレホフスキ元外相等と市民プラットフォーム (PO) を設立し、2003年から党首を務める。2005年の大統領選挙では、故レフ・カチンスキ大統領に僅差で敗北。2007年から首相に就任。2011年の総選挙でPOが再び第一党となり、2期連続で首相を務める。マウゴジヤータ夫人との間に一男一女。

- 1980年 グダンスク大学に反体制系の独立学生連帯設立
- 1980~81年 独立系出版社「沿岸出版」編集員、「自主管理」誌記者
- 1980~89年 自主管理労組「連帯」所属
- 1984~89年 建設労働者
- 1991~93年 下院議員
- 1991~94年 政党「自由民主会議」党首
- 1994~2000年 政党「自由同盟」副党首
- 1997~2001年 上院議員 (上院副議長)
- 2001年~ 下院議員
- 2001~05年 下院副議長
- 2003年~ 政党「市民プラットフォーム」党首
- 2007年~ 首相

副首相兼経済相 【再任】

ヴァルデマル・ノワラク (Mr. Waldemar Pawlak)

下院議員 (農民党党首)

1959年 モデル (マゾフシェ県) 生 ワルシャワ工科大学自動車・ロボット機械学部卒



1981年2月にワルシャワ工科大学のストライキに参加。大学卒業後は、農業経営を経て、社会主義時代から政治活動を始める。1990年には農民党 (PSL) の党首に就任し、1992年、1993年~95年に首相を務める。1995年の大統領選挙で敗北し、1997年にPSL党首を辞めて以降、政界において要職に就くことはなかったが、2005年11月に再びPSL党首に就任。2007年から トゥスク政権の副首相兼経済相に就任。

内務相 【新任】

ヤツェク・チボツキ (Mr. Jacek Cichocki) 非議員

1971年 ワルシャワ生 ワルシャワ大学哲学・社会学部卒



1992年から東方研究所勤務 旧ソ連諸国 (特にコーカサス地方・中央アジア) の政治・経済を専門とし、2001年から同研究所の副所長、2004年から2007年まで同所長を務める。2008年から首相府次官 (特務機要担当) に就任。

行政・デジタル相 **【新任】**

ミハウ・ボニ (Mr. Michał Boni) 非議員

1954年 ポズナン生 ワルシャワ大学ポーランド学部卒業 1986年、
社会文化博士号取得。



1991年、マゾヴィエツキ政権及びピエリツキ政権で労働・社会政策相を務める。2008年からトウスク首相陣略顧問グループの長を務め、党選挙プログラム策定に関わる。2009年1月から無任所大臣(立法事兼担当)に就任し、財政健全化のための経済・社会改革法案をとりまとめる。

外相 **【再任】**

ラドスワフ・シコルスキ (Mr. Radosław Sikorski)
下院議員 (市民プラットフォーム副党首)

1963年 ビドゴシチ生 オックスフォード大学政治経済学部卒



1981年の戒厳令時にイギリスに亡命。オックスフォード大学卒業後ジャーナリストとなり、内戦下のアフガニスタン等で取材を行う。1992年国防次官に抜擢され、その後1998年~2001年国外務次官を務める。ワシントンDCの著名シンクタンクであるAEIの常務研究員を経て、2005年10年ごろ、総選挙で「法と正義」(PiS)から出馬し、上院議員に当選。マルチン・ケヴィチ内閣・カチンスキ内閣の国防相に就任。2007年の総選挙では、市民プラットフォーム (PO) に鞍替えして、下院議員に当選。2007年以降、外相を務める。

運輸・建設・海事経済相 **【新任】**

スワボミル・ノバク (Mr. Sławomir Nowak)
下院議員 (市民プラットフォーム)

1974年 グダンスク生 グダンスク大学社会学部及びグデーニア海事大学行政学部卒



1994年、学生の時から会社を立ち上げ、1999年、民間広告会社「Signum Promotion」の社長を務め、2002年から「グダンスク・ラジオ」の副社長を務めた。政界には2001年から市民プラットフォーム (PO) から出馬し、選挙で落選したものの、2004年、レバンドフスキ現EU委員の欧州議員への転出に伴い、繰り上げ当選。2007年の総選挙ではグダンスクから出馬し当選、首相府次官を務め、2010年から大統領府次官に就任している。

財務相 **【再任】**

ヤン・ヴィンツェント・ロストフスキ (Prof. Jan Vincent Rostowski)
下院議員 (市民プラットフォーム)

1951年生 英国ロンドン生 ロンドン大学卒



経済学者として、1990年代前半にロンドン大学で学鞭を執る一方で、1989年~1991年ごろ、ヴィツェロヴィチ副首相兼親務大臣の経済顧問を務める。その後も、財務省マクロ経済政策委員会長 (1997年~2001年)、中央銀行総裁顧問 (2002年~2004年) を歴任。1996年からブダペスト中欧大学経済学部長。2004年からPKO銀行執行役員も務める。2007年から財務相に就任。2011年の総選挙でワルシャワ選挙区から出馬して下院議員に当選。

国防相 **【再任】**

トマシュ・シエモニャク (Mr. Tomasz Siemoniak) 非議員

1967年 ヴァウブジフ生 ワルシャワ商科大学海外貿易学部卒

2000年から2002年までワルシャワ副市長、その後2006年から2007年までマゾビエツキ県副知事を歴任。2007年から内務・行政省で災害復興担当次官に就任。2011年、クリフ国防相の辞任を受けて、2011年8月から現職。



農業・農村開発相 **【再任】**

マレク・サヴィツキ (Mr. Marek Sawicki) 下院議員 (農民党)

1958年 サヴィツェ生 シェデルツェ農業・教育大学卒

大学卒業後、農業・教育大学助手、農業学校教師を務め、1990年～96年間はレプキ郡長を務める。中央政界では、1993年から5期連続で下院議員 (農民党所属) となり、1996年～97年間はチモシェヴィチ内閣で副首相を務める。政治活動続ける傍ら、農業経営を続けている。



文化相 **【再任】**

ボグダン・ズドロイエフスキ (Mr. Bogdan Zdrojewski)

下院議員 (市民プラットフォーム)

1957年 クウォゼック生 ヴロツワフ大学哲学学部及び文化学部卒

1990年～2001年3体制選挙後初のヴロツワフ市長。在任中、1997年同市が洪水被害にあった際、市長としての指導力が評価され高い人気を得る。1997年に上院に選出されるも、憲法改正が市長職との兼任を認めなかったことを受けて辞任。2001年から4期連続で下院議員。2006年から、市民プラットフォーム (PO) 院内総務を務める。2007年から文化相に就任。



法相 **【新任】**

ヤロスワフ・ゴヴィン (Dr. Jarosław Gowin)

下院議員 (市民プラットフォーム)

1961年 クラクフ生 ヤギエウオ大学哲学部卒、英ケンブリッジ大学留学、博士号取得

2005年の総選挙でクラクフから市民プラットフォーム (PO) のリストから出馬し上院議員に当選。2007年の総選挙では下院議員として当選。憲法改正などにも取り組むPOにおける保守派の論客として知られ、カトリック教会に関する著作多数。



労働・社会政策相 **【新任】**

ヴワディスワフ・コシニャク・カミシュ (Mr. Władysław Kosiniak-Kamysz) クラクフ市議会議員 (農民党)
1981年 クラクフ生 ヤギエウォ大学医学部卒



年齢が30歳と若く、父親はマゾヴィエツキ政権下のアンジェイ・コシニャク・カミシュ保健相。2010年の統一地方選挙で農民党から出馬し、クラクフ市議会議員に当選。

国有財産相 **【新任】**

ミコワイ・ブザノフスキ (Mr. Mikołaj Budzanowski)
非議員

クラクフ生 ヤギエウォ大学歴史学部卒、外交・国際関係を専攻。博士号取得。



2002年からマウオポルスキエ県庁に勤務、2004年から欧州議会で勤務し、2008年1月、環境省気候変動局長、同年9月から国有財産省民営化監視局長を務め、2009年7月から同省次官に抜擢。

国民教育相 **【新任】**

クリシュティナ・シュミラス (Ms. Krystyna Szumilas)
下院議員 (市民プラットフォーム)

1956年 クヌルフ生 シロンスク大学数学部及び情報工
学部卒

1957年から1991年まで小学校教員。1991年から2001年までグリビツカ郡評議会議員。2001年から市民プラットフォームから出馬し、4期連続で当選。2007年には国民教育次官を務め、教育問題を専門とする。



地域開発相 **【再任】**

エルジビエタ・ビェンコフスカ (Ms. Elżbieta Bieńkowska)
非議員

1964年 ミスウォヴィツェ生 ヤギエウォ大学東洋学部卒

シロンスク県地方長官全権代表 (地方契約及び地域開発担当)等を経て、シロンスク県庁地域開発局長を務める。2007年10月からは、シロンスク企業センター長も兼任、地域開発分野の専門家として、EU委員会との交渉活動に評価され、2007年からトウスク政権の地域開発相に任命された。ポーランド外務省及び英国政府での研修経験あり。



保健相 **【新任】**

バルトシュ・アルウコヴィチ (Mr. Bartosz Arłukowicz)
下院議員 (市民プラットフォーム)

1971年 レスコ生 シチェチン医学大学卒 (小児専門)、
シチェチン大学でMBA取得



2002年、民主左翼連合 (SLD) より出馬し、シチェチン

市議会議員に当選。2005年には社会民主党より総選挙に出馬したものの落選。2007年、「左派民主主義者」(LiD)から出馬し、下院議員に当選。2011年5月、SLD内でナピエラルスキ党首と対立し、SLD議員クラブを離脱、市民プラットフォーム(P0)に移籍、トウスク政権の社会的弱者救済担当特命代表に就任した。2010年の総選挙でP0リストから出馬し、下院議員に当選。

環境相 **【新任】**

マルチン・コロレツ (Mr. Marcin Korolec) 非議員
1968年 ワルシャワ生 パリ国立行政学院ENA卒、ワルシャワ大学法律行政学部卒



1995年から外務省法律条約局に勤務し、1998年、クワコフスキEU加盟政府代表(当時)の補佐を務める。2001年から欧州統合委員会(UKIE)で公使参事官を務め、2005年、経済次官に就任。

科学・高等教育相 **【再任】**

バビラ・クドゥリツカ (Prof. Barbara Kudrycka)
下院議員(市民プラットフォーム)
1956年 コルノ生 ワルシャワ大学法律・行政学部卒 法学博士号取得



行政法の専門家として、1998年からピアウイストク法律・行政大学の学長を務める。かつて「連帯」に所属し、2004年、市民プラットフォーム(P0)のリストから欧州議会選に出馬し当選。2007年から科学・高等教育相に就任。2011年の総選挙ではピアウイストク選挙区から出馬し、下院議員に当選。

スポーツ・観光相 **【新任】**

ヨアンナ・ムハ (Ms. Joanna Mucha)
下院議員(市民プラットフォーム)
1976年 プンスク生 ワルシャワ大学卒、2007年経済博士号取得



政界進出前は、ルブリン・カトリック大学で教鞭をとる。2002年、自由同盟(UW)から市民プラットフォーム(P0)に移籍し、2007年の総選挙でルブリン選挙区から出馬し下院議員に当選、2011年の総選挙で再選。

無任所大臣(首相府長官) **【新任】**

トマシュ・アラプスキ (Mr. Tomasz Arabski) 非議員
1968年 グダンスク生 グダンスク工科大学卒



「自由ヨーロッパラジオ」及び「ラジオゼット」の記者として活動。その後、「ワルト新聞」編集長を務める。2007年から首相府長官を務め、2010年4月のスモレンスクにおける政府専用機墜落事故を調査する国際グループのメンバーも務める。2011年、総選挙に出馬するも落選。